

2023年9月28日

～中信美術館～
「羽田家のキモノ 羽田登喜男・登・登喜 友禅の心を伝える」展開催について

公益財団法人 中信美術奨励基金（理事長 白波瀬 誠・京都中央信用金庫 理事長）では、中信美術館において「羽田家のキモノ 羽田登喜男・登・登喜 友禅の心を伝える」展を下記のとおり開催しますのでお知らせいたします。

記

- 1. 展覧会名** 「羽田家のキモノ 羽田登喜男・登・登喜 友禅の心を伝える」
- 2. 展覧会内容** 京友禅に加賀友禅を融合させた独自の技法により新境地を切り拓いた重要無形文化財保持者・羽田登喜男氏、ならびに羽田登氏、羽田登喜氏の三氏による作品を展示し、三代にわたり継承・発展される羽田友禅の伝統と技を広く一般に公開いたします。登喜男氏により献納された祇園祭蠅螂山の懸装品を合わせて展示いたします。
- 3. 会 期** 2023年10月13日（金）～11月30日（木） 月曜休館
午前10時から午後5時（入館は午後4時45分まで）
- 4. 会 場** 「中信美術館」
京都市上京区下立売通油小路東入西大路町136番3
（京都府庁正門西約100メートル）
地下鉄/丸太町駅下車徒歩10分 市バス/堀川下立売下車徒歩2分
- 5. 入 場 料** 無料
- 6. 主催・協力等** 主 催：公益財団法人 中信美術奨励基金
協 力：祇園祭・蠅螂山保存會、京都中央信用金庫

以上

(ご参考)

羽田 登喜男（はた ときお）氏略歴

1911年石川県生まれ。加賀友禅と京友禅を融合させた独自の技法とともに、手描き友禅の全工程を一貫して手がける羽田友禅の制作スタイルを確立した。花鳥風月に材を求め、特に鴛鴦の文様は人気が高い。国内外の展覧会のほか、英国ダイアナ妃へ振袖を献上、祇園祭嵯峨山に懸装品を献納するなど多くの功績を残した。'76年日本伝統工芸展最高賞、藍綬褒章、'82年勲四等瑞宝章、'88年重要無形文化財「友禅」保持者、'90年京都府文化賞特別功労賞、京都市文化功労者など様々な賞を受賞。2008年逝去。享年97。

羽田 登（はた のぼる）氏略歴

1938年京都市生まれ。登喜男氏の長男として、幼少より手描き友禅の伝承をうける。京都市立美術大学日本画科卒業。国内外の展覧会で作品を発表し、京の町並みや四季の風景を叙情豊かに描く作風は、繊細でありながら力強い。2006年京都府指定無形文化財「友禅」保持者、'11年京都府文化賞功労賞受賞、旭日双光章受章、'14年京都市文化功労者など様々な賞を受賞。現在、工芸美術作家協会 理事長。

羽田 登喜（はた とき）氏略歴

1968年京都市生まれ。登氏の次女。京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻染織卒業。祖父、父にならった確かな技術に加え、現代女性としての感性を生かし、愛らしく斬新なデザインを生み出す。展覧会のみならずファッションショーへも数多く出品する。'14年・'19年京都工芸美術作家協会展奨励賞受賞。現在、京都工芸美術作家協会会員。

登喜男・登・登喜
友禅の心を伝える

羽田家のきもの展

KIMONOS DE LA FAMILLE HATA



左から：羽田家「緑蝶」2015年／羽田家「春の夢」1998年／羽田家「法北巻」1987年 4444

2023 **10.13** [金] → **11.30** [木]

入場無料

開館時間：午前10時～午後5時(入場は午後4時45分まで) 休館日：月曜日

主催：公益財団法人中信美術奨励基金 協力：祇園祭・蟻螂山保存会、京都中央信用金庫

中信美術館

■お問い合わせは財団事務局 京都中央信用金庫 総合企画部 TEL.075(223)8385 FAX.075(223)2563

京都市上京区下立売通南小路東入西大路町136-3(京都府庁正門西約100メートル)専用駐車場はございません。地下鉄・丸太町駅下車10分 市バス・堀川下立売下車2分 TEL.075(417)2323

感染症対策(ご来館のお客様へお願い) ・発熱や咳など風邪のような症状がある方はご来館をお控えください。・最新情報は「中信美術館」のホームページにてお知らせします。



京博連

文化庁 京都へ